

本格始動 消防拠点に



防災意識を高めもらえるように 講習会や各種体験も行えます

火災などの被害を未然に防ぐためには、防災・火災の予防啓発活動が必要です。いざというとき、正しい応急処置が行えるように、救命講習を実施することも消防署の業務です。

多目的ホールでは、市民の皆さんに防災意識を高めもらえるように、防災や救命に関する講習会や幼年消防クラブの研修会などを行います。水消火器を使った消火訓練や、煙が充満した室内から避難する訓練も体験できます。

オストメイト対応の多目的トイレを設置して



バリアフリー化を図り、幅広くたくさんの人たちに参加してもらえるように配慮しました。

職種に関するバリアをなくすために、女性隊員専用のブースを設けたことも、東消防署の特徴のひとつです。女性隊員が活躍しやすい環境を整えたことで、性別に関わらず職種を選択できるようになりました。

隊員が使用する仮眠室は、ウィルスなどの感染を防ぐために、すべて個室になっています。

救急消毒室には、除染効果が高いオゾン水生成器を配備しました。ウィルスや菌を分解することから、車両・資機材の消毒や、汚染された災害現場での効率的な活動が可能になります。

お問い合わせは、
消防総務課 電話459-7802へ

訓練人形とAEDトレーナーが 寄贈されました

八千代市防災協会の常任顧問で、防災事業にご協力いただいている遠藤章雄さんから訓練人形2体とAEDトレーナー2器が寄贈されました。2月10日には消防長が感謝状を贈りました。救命講習会などで応急手当の普及啓発に役立てていきます。



▲左から、小澤義昭消防長、遠藤章雄さん、山崎栄一

多目的ホールで市民向け講習



▲いざというときのための応急手当や、AEDを使った心肺蘇生法などの各種講習会や研修ができるホールです

高い除染能力 オゾン水生成器



▲オゾン水で、細菌やウィルスなどを安全に分解します。キャリア搭載型なので、災害現場でも使用することができます

出動を知らせる“緊急出動灯”



▲車両の出動時に、メッセージを表示、サイレンと音声を流し、通行車両や通行人に注意を促します。注意報などの情報を表示します

広告